

24目標
12月短答後 論文学習法
論文答練の復習等
2022合格者答案紹介
担当：平林

- ✓ 各科目の参考法令基準集 買い直すか？
- ✓ 論文答練・アクセス、復習方法は？
- ✓ 典型論点はどれぐらい書けばいい？合格者答案の紹介
- ✓ 租税理論 要約条文の使い方例等、各科目のポイント

LINE アカウント移行のお知らせ

TAC

3月から、下記3つのアカウントで運用します。

重要情報の入手漏れがないよう、入手したい情報に応じて登録をお願いします。

24目標初学者向けアカウントは、

3月以降アカウント移行・配信停止になります。

● 24目標短答関連情報@24tac_tan

(旧 短答リスタート生向けLINE)

<https://lin.ee/6tUTMu6>



※論文向けのポイントや答練情報等については配信なし、5月に集中したい人向け

● 24目標5→8関連情報(新設)@24tac58

<https://lin.ee/VOs76ly>



● 24目標論文関連情報 @24tac_ron

(論文リスタート生/12→8生向け)

※短答向けのポイントや答練情報等については配信なし

<https://lin.ee/ATV58d1>



参考法令基準集 令和5年版を持っている場合に買い直すか？

最新の令和6年版は、2月末に発売。

①令和5年市販版・②令和5年本試験配布版を持っている場合は…

租税法 ①②共に×、最新版を買い直す

監査論

- ①△ グループ監査などが入っていない。
最新版を買い直すか、グループ監査だけ印刷して挟み込んで使う)
- ②○ 買い直さなくてok

企業法→①②ともに○ 買い直さなくてOK 電子提供措置改正 反映済み

会計学→①②ともに○ 買い直さなくてOK 法人税等基準改正 反映済み

はじめに 論文式試験 合格に必要な力 3 つ

1. 論文答練の準備・振り返り方

2. 各科目のポイント・令和4年合格者答案の紹介（別途配付資料）
財務計算テキストチェックゼミ 論文論点

3. 参考資料 公式LINEのアカウント移行
質問対応用LINEオープンチャット等について

理解 暗記 試験中の行動

1. 理解

複数論点を**比較**できるか？ **具体例**は挙げられるか？

★理解していると、「丸暗記」の量が減る。4月頭頃までは理解を重視。

★問題演習など、アウトプットを通じて理解不足を探す。

×「~~理解・暗記してから問題演習を始めよう~~」

2. 本試験当日に、知識を引き出す。**暗記・ピーク合わせ**。

「見たらわかる」「知っている」だけでは不十分。覚え切ることができるか？

本試験当日、【よどみなく】引き出せるか？

最後の2週間、全科目ピークを合わせられるか？

★**メリハリを付ける。**

まず重要かつ苦手な論点をつぶす→直前2週間は得意な論点も点検

3. 得点に繋げる（時間配分・読み飛ばし対策・問題の読み取りなど**試験中の行動**）

自分なりに答練に向けて準備して受験し、

ミスの傾向を掴む。工夫をする。

★**完璧主義は封印する。本試験までに復習して伸ばす。**

12月短答以降のスケジュール目安

- ★全科目、テキストを大事に。
- ★論文アクセス・基礎/応用答練は**範囲指定あり**。
ある程度準備して受験し、足りない力を分析。

★問題集・答練等のアウトプットを通じて、
インプットの穴/不足している力を特定。
問題を解く&周辺想起。

※5月短答を受験する場合

1・2月末には短答科目の講義を終わらせる。
3月後半から短答直前答練開始。

4月からは、短答向けの結論暗記のため、
論述対策や租税法/選択科目はストップ。

日程例(早稻田/日吉) 3/24(日)5月短答直前答練1
4/14(日) 5月短答直前答練2
5/4頃 5月短答全国公開模試
5/12(日) 5月短答直前答練3

4/23-25(火水木)/27・28(土日)論文公開模試 第1回 **まずは下をならす。**

理論補強答練1・2

5/26(日) 5月短答式試験

論文直前講義 各1回

財計・管理・租税計算アクセス後半 論文直前答練1・2

6/25-27(火水木)/29・30(土日) 論文公開模試 第2回 **満足水準を目指す。**

論文直前答練 3(監査企業のみ4回目あり)

回転期

会計学計算・・・2週間以内に論点1周、
その他は7日～2週間以内に論点1周、暗記は毎日など。

8/16-18(金土日) 論文式試験

★暗記詰め・ピーク合わせ

Input 強化

基礎的な概念を
理解し、
口頭で説明できる
状態に。

12月短答後～
租税法・選択科目
講義受講開始

Output 強化

問題文の読み取りと
素直な答え方、
部分点の取り方、
時間配分等を
身に付ける。

正確性
・
スピード強化。

各種問題集・答練の
ほか、論文対策講義
を活用。

財務 計算
・
管理会計論
アクセス
前半

2月一
租税法
アクセス

論文
基礎答練
3回

★問題文の読み取り、
問への素直な答え方
を身に付ける

・
応用答練
2回

★部分点の取り方、
時間配分の練習等

2月
セミナー
2/5-
5月短答
出願
論文リスタート
生も出願

4月
セミナー

5月短答後
セミナー

論文直前期
セミナー

論文後セミナー

論文アクセス14回

- 財務計算・管理(理論含む)論文アクセス 1月半ば～
- 租税計算 2月～ 形式に慣れる。実施後、特に租税アクセスは反復練習してテキストへ戻る。取るべき箇所の見極め・メンテナンスに活用。
苦手な論点の強化やスピードアップに、難易度A・B部分を使う(特に財務)。
※5月から論文対策を開始する場合、租税はアクセスや基礎答練をテキストを横に置いて取り組み、トレーニング代わりにする。

論文**基礎**答練3回(企業法4回) 基礎答練はごく基礎的な問題が多い。形式に慣れる。問いに素直に答える練習。出題範囲を復習して受験。

論文**応用**答練2回(2～4月頭) 応用答練から、時間配分/取るべき箇所の見極め、部分点を取る練習。出題範囲を復習して受験。

論文**直前**答練3～4回(6～7月) ★財務・管理の応用答練は、難易度が高め。
租税・経営は、応用答練から理論部分を出題開始。

論文**全国模試**2回(4月末・6月末) 全国模試・直前答練は範囲指定なし。

理論科目のみ 理論補強答練2回 5月～ ※科目によって重要性が異なる。

- 企業・租税・経営学...通常**の答練と重要性は同等**。必ず受講して復習。
- 財理・監査論...重要性は少し下がる。応用的・論点横断的な問題が多い。
自習時の視点を新たにしたり、理解強化に活用。通常答練が優先。

論文答練 解答時・復習のポイント

答練・模試 成績表の見方

21年目標 公開模試 第2回										2021/01/21 現在				
			テーマ	素 点	配 点	平均素点	素点比率	得 点	得点比率	順位/受験者数	判 定	Aランク素点差	Bランク素点差	Cランク素点差
会計学	財務会計論	第一問 個別論点		31	60	31.6	51.7	29.6	49.3	363/ 684	D	- 8	- 5	- 2
		第二問 自株・繰上・金融等		20	70	26.8	28.6	29.1	41.6	540/ 684	E	- 13	- 11	- 8
		第三問 通関・企業結合・収益		33	70	28.0	47.1	38.2	54.6	209/ 684	B	- 3	0	+ 3
		小 計		84	200	86.3	42.0	96.9	48.5	400/ 684	E			
	管理会計論	第一問 個別原計・標準原計		16	50	13.6	32.0	27.4	54.8	173/ 687	B	- 2	0	+ 1
		第二問 CVP・内部整理等		17	50	11.5	34.0	31.5	63.0	63/ 687	A	+ 2	+ 3	+ 5
		小 計		33	100	25.0	33.0	58.9	58.9	87/ 687	A			
		合 計		117	300	111.6	39.0	155.8	51.9	268/ 691	C			
監査論		第一問 報告書記載区分関連		20	50	20.6	40.0	24.5	49.0	337/ 650	D	- 6	- 4	- 2
		第二問 売掛金・棚卸資産		20	50	21.0	40.0	24.2	48.4	355/ 650	E	- 6	- 4	- 2
	合 計		40	100	41.6	40.0	48.7	48.7	362/ 650	E				
企業法		第一問 股票取引		12	50	15.1	24.0	23.0	46.0	382/ 648	E	- 9	- 7	- 4
		第二問 株式交付		10	50	14.4	20.0	22.1	44.2	435/ 648	E	- 10	- 8	- 6
	合 計		22	100	29.5	22.0	45.1	45.1	455/ 648	E				
租税法		第一問 租：法人・消費・所得		13	40	17.2	32.5	18.0	45.0	445/ 669	E	- 11	- 8	- 6
		第二問 計：法人・所得・消費		15	60	22.6	25.0	24.3	40.5	547/ 669	E	- 14	- 11	- 9
	合 計		28	100	39.8	28.0	42.3	42.3	536/ 669	E				
経営学		第一問 経営管理		23	50	18.1	46.0	27.5	55.0	205/ 622	B	- 2	0	+ 3
		第二問 財務管理		19	50	27.0	38.0	20.7	41.4	481/ 622	E	- 15	- 12	- 9
	合 計		42	100	45.1	42.0	48.2	48.2	363/ 622	E				
総 合				249	700	274.2	35.6	340.1	48.6	389/ 711	E			
受験すべき全科目受験者数										657				

素点...自分の実際取った点数 平均素点...全国通学生平均 得点比率...≡偏差値

「得点比率」（≡偏差値）は、同一採点者を母集団として算定している。
 まだ提出部数が少ない時点だと、素点が全国平均素点を超えていても
 偏差値が50を下回るケースがある。**難易度Aや典型を書けていたかや、Cランクとの素点差等を見る。**

※論文模試は、企業法第1問を除き、全て同じ講師が採点するため同一母集団。

◎ 大問ごとに偏差値が凹む原因例

- **理解不足**（テキストをしばらく見ておらず断片的な知識）
- **暗記不足・ピーク合わせ△**
（典型論点が想起できない・計算でしばらく手を動かしておらず正確性やスピード不足）
- **試験中の行動**
 - 問われていることを読み取れない(※)
 - 問題文読み飛ばし（単位、端数処理、理論科目指示・状況把握）
 - 時間配分
 - ① 大問ごとの時間配分（一方に粘り過ぎてもう一方が50分未満など）
 - ② 大問内の時間配分・難易度の見極め

(※)成績と手応えが乖離するケースがある。特に、企業法と監査論。

■ 論点ズレ（何を問われているか読み間違える）

■ 余事記載（特に企業法で、問われていないことまで余分に書くと大きく減点されることがある）

解答欄を「埋める」ことではなく、
問に対して素直に過不足なく答えることを目指す。

論文式試験 解答時のポイント

計算・理論科目共通

- 大問ごとに得点比率（≠偏差値）が付き、大問ごとの配点に応じて加重される。**時間配分に注意。**
難易度にもよるが、大問1つについて、1時間を大きく超えないように。管理は20～25分×4問など。
大問ごとに平均を死守する。
- 解答用紙・解答欄取り違えに注意。指差し点検。

★素点ゼロの大問は、得点比率もゼロとなる。必ず素点1点は確保。特に、管理会計第2問や企業法。

★大問合計偏差値40未満の科目がある場合、足切りとなる（大問ごとではなく、科目全体の合計）。

計算科目

- 比較的平易な箇所を正確性を重視して正答すれば、合格点に届く。
大問ごとの時間配分に注意。やらかしミスの傾向を把握して下書き等工夫。

理論科目

- 問題文の意図を読み取り、素直に答える。
「答練が当たった!」「もらった!」等思った時ほど、要注意。
論点を早合点しない。問われていることを見定めてから書き始める。
★答練で手応えと成績に乖離がある場合、「論点ズレ」の可能性あり。分析して講師と相談。
- 解答行数が余ったとしても、余事記載（問われていないことまで記述）で埋めない。
問いに対して、素直に丁寧に、「過」不足なく答える。
- 「～の観点から」「～に照らして」「～を踏まえて」「～と比較しながら」などの**指示に従う**。
- 応用的な問題は、時間を掛けすぎないように、時計を見てから解き始める。
- 基準集が使えるようにする。

論文答練の復習① 計算科目

① **難易度A等で取れなかった箇所**について、分析。★難易度の高い集計箇所まで全てを復習する必要はない。

●インプット・メンテナンス不足？

●アウトプット面 難易度の見極め？

処理の想起スピード不足？やらかしミス？

同じ論点が易しい問題として出題された場合に正解できるか、テキストで論点確認など。

★偏差値45などの科目でも、
下書きを工夫してやらかしミスを減らすと
偏差値52を優に超える場合が多い。

② **正解した箇所**についても、以下ざっと振り返る。

●解答時不安に感じた箇所、

やらかしミスが起こりそうだった箇所はないか？

●下書きをよりシンプルにできないか？

●飛ばすべき箇所ではなかったか？（難易度が高い・集計量が多い）

③ 採点講評を確認。正解率データを確認し、他の受験生の状況を知る。

成績が出たら、大問ごとにCランクとの素点差等を確認。

模試は平均点との素点差を確認。

① 問いと模範解答の対応関係进行分析▶次ページ参照

なぜこの解答となっているのか？問題文に照らして考える。
特に、論点ズレした箇所。

② 空欄にしてしまった箇所は、 部分点が取れなかったか？問題文のヒントを探す。 例「～に着目して」

③ ある程度書けた箇所は、 もう少しコンパクトに答えて 他の箇所へ時間が割けなかったか？解答の要素は十分か？分析。 ★自分の手応えと成績が乖離している場合、 分析して自分なりに仮説を立てて、講師へ相談。

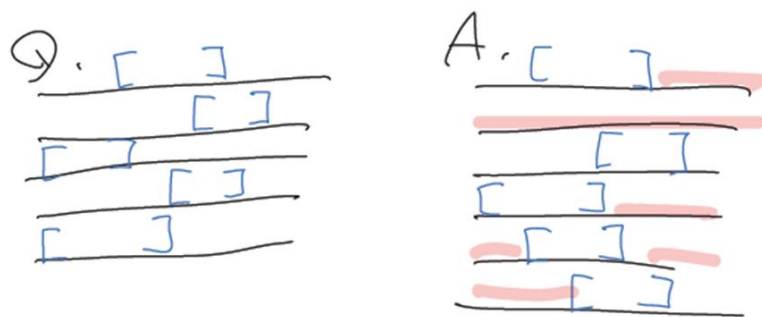
Q. 問題で何が問われているか、どのように書き始めればよいかわからない。
自分では書けたと思って、全く点数が入っていないことがある。



解答例と**問題文**をよく見比べる。なぜその解答か？
企業法・監査論は答練解説を熟読し、
問題文から解答例へ**どのように引用されているか**、等分析する。

例 「～の観点から」「～と比較して」（特に、応用的な問題）

★自分の手応えと成績が乖離しており原因がわからない場合、
分析して講師へ相談。
問題文が読み取れていない・指示に従っていない可能性が高い。



[]…模範解答のうち、
問題文から引用されている箇所
—…自力で書く、
又は基準集から引用して書く箇所

論文学習法 各科目のポイント

理論科目

計算科目

論文式試験 各科目のポイント一覧

【1日目午前】

監査論

(100点) 金曜日 10:30-12:30

目次を見て論点が思い出せるか。

★基準集に記載の無い概念・理屈は説明できるように。

★基準集を引けるように。

★事例問題は問題文を引用しつつ、素直に過不足なく答える。

【1日目午後】

租税法

(100点) 14:30-16:30

理論40点、計算60点

(固めると安定的に稼げる)

★法人税テキスト①が最重要。
次に、所得税・消費税の基礎論点。
(上級講義8までの論点)

★膨大な資料から簡単な箇所を拾う。

★12→8月/論文リスタート生は
租税計算を稼ぎ科目にする。
特に法人税①。
5月生は基礎論点で守る。

★2日目は、「会計学」という
【2日目午前】300点満点の科目として扱われる。

会計学午前[管理会計論]

(100点) 土曜日 10:30-12:30

目次を見て論点・処理を想起できるか。
基礎的な用語穴埋め問題も出題。
重点出題項目以外もテキストは抑える。

★時間配分に注意。
大問ごとに平均を死守。

▼会計学午後は3時間。第3問60点・第4問70点・第5問70点で200点満点。

【2日目午後】

会計学午後[財務会計論] (200点) 14:30-17:30

財務理論

(第3～5問 120点ほど)

論文で最も配点が高い。

★キーワードを使って理屈部分が説明できる。
特に重要度A論点。

★処理部分について、基準集が引ける。

★応用的な問題で、基礎概念を使って部分点獲得。

財務計算

(第3・5問の一部)

★時間配分に注意。
大問ごとに平均を死守。

★難易度の易しい箇所を正確に解く。

【3日目午前】

企業法

(100点) 日曜日 10:30-12:30

★条文を挙げられるか?

★問題文から論点・条文に
気づけるか?

★適切に論理を組み立てられるか?
原則→問題の所在→規範定立→あてはめ

【3日目午後】

経営学

など選択科目

(100点) 14:30-16:30

戦略論/組織論 50点

ファイナンス(主に計算) 50点

★難易度の易しい計算を
正確に解く。

★理論(4+3で全7回ほど)

人名をヒントとして

関連用語を想起。

重要概念は、ある程度

キーワードを使って説明。

-

なお、補習所の課題研究（長文レポート）には「改行や段落の不備」も提出時のチェック対象であることが明示されている。

- 令和5年論文
会計学「出題の趣旨」
から抜粋→

Copyright © 2024 TAC –Confidential- 2月論文学習法17

△箇条書きや体言止めなど「…考え方。」「…ため。」のような論文式として不完全な記述

→◎「ためである。」など、文として成立させる。

△メールのように、**文章の途中で不適切な改行**

→◎意味の切れ目ではなく、段落が変わる時のみ改行。

△「～なので」「～だ。」などの碎けた表現

→◎「～ため、」「～ことから、」「～である。」
「～と考えられる。」など

詳しくは、答案作成ポイント講義を受講。

★回答には、ボールペンと修正テープ使用。

フリクション・鉛筆での解答は採点されない。※問題用紙にはOK

★解答欄外に書き込んだ場合も、採点除外となるおそれあり。

短答と論文の違い・良い答案とは？

短答式試験

正誤の判定（多くは結論の判断）

★企業法・監査論・財理の
具体的な論文学習法について、
詳しくは12/29配信の
論文学習法セミナー視聴

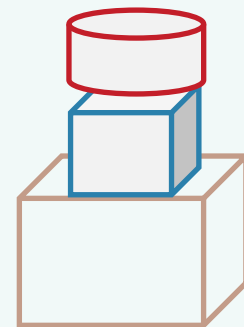
論文式試験

問題文の**状況を理解**し、
どのような論点を書くかを**判断**し、
指示に従って**順序立てて論述**する

良い答案

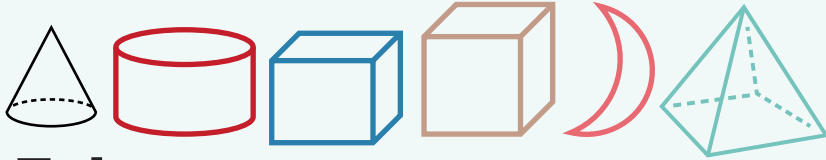
論点に気付ける(特に企業法・監査論・管理)
表現・内容が適切(特に監査論・財理・管理)
論述の順序・全体のバランスが適切

使うブロックは何か？
ブロックの形を綺麗にする
積み上げる練習
財務・・・計算との時間配分



良い答案を作成できるようになるには？

【インプット】テキストの精読

- 1 いろいろなブロックをそろえる 
⇒ **知識を整理する、論点を理解する**

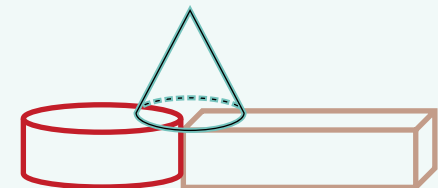
理解し切れない箇所は
質問用に付箋を貼り一旦先へ

- 2 ブロックの形をきれいにする
⇒ **正しい表現・論述を身に付ける**

【アウトプット】 答練・問題集

- 1 問題に応じて適切なブロックを**選ぶ**訓練
- 2 ブロックの**積み上げのパターン**に慣れる(特に、企業法)

インプット・アウトプットを往復。
両者は表裏一体。バランスが重要。



①テキストの精読 と ②問題集の往復



(ある程度準備した上で) ③答練を受ける。

「テキストの精読」＝(1)知識・理解の整理
(2)論点・論証例を覚える

答練(基礎・応用)の進捗を目安に、
上記①・②・③を繰り返して進む。

特に企業法は、どのような目的で何を覚えようとしているのか意識。

目的A 理解した内容の定着

目的B 正しい表現・論述を身に付ける

Aに重点を置く場合には、ポイント・要点を整理できれば良い。

Bは、企業法の場合主に直前期の最後の仕上げ。

理論科目 論文問題集について

問題集の問題は、重要性と問題タイプに応じて
使い方・強度を変える。

企業法 平成21年以前の過去問は知識確認/整理でOK 監査論 記述対策用56問と知識確認用問題

4-2. 問題集に関する留意点

TAC

※ 問題集の問題は、全て同じ強度で取り組む必要はない。

論文問題集の利用方法（必ず読んで各自「工夫」すること！）

重要性は【解答例】の部分に設問ごとにABCで表示しています（A：8割以上書きたい、B：普通、C：難問 or 出題可能性低い）。重要性は客観的な重要性であり、直近の本試験での出題は考慮していません。

AとBが重要です。また、過去問は平成22年以降が重要です。それ以前の過去問については、知識の確認や整理として利用すればよい。

過去問以外では、事例型問題を優先してください。純粋説明型問題は、知識の確認や整理として利用すればよい。

覚えた知識をスムーズに引き出せるようにすることが目的

論文対策講義では、H27以降の論文式本試験（H27第2問を除く）の演習・解答分析を扱います。

上記の過去問も問題集に収録されていますが、それらは、論文対策講義の受講時に解く（答案構成をする）ので、それまではスキップ。

1月・2月は、他の問題を通じて、知識の確認・整理。

例えば、no.2（p.5）
問「公開会社・非公開会社で比較しないさい。」
①総会の招集通知 ②議題提案権
⇒ ポイント（①書面か・期間 ②少数/単独、保有期間）
条文の確認（必要に応じて、趣旨も）

知識の引き出しに
関する。
イメージ
書かずOK。

4-2. 問題集に関する留意点

TAC

① 書けるように覚えるべき問題（記述対策用）（について）

第1章	第2章	第3章	第4章	第5章	第6章
1-1-1	1-3-7	2-2-1	2-4-6	3-1-1	4-1-1 問1②
1-1-2	1-3-8	2-3-4	2-4-7	3-1-2	4-1-5
1-2-1	1-4-1	2-3-5	2-4-8	3-1-3	4-2-1
1-2-4	1-4-2	2-3-7	2-5-2	3-1-4	4-2-2
1-2-5	1-4-3	2-3-8	2-5-16	3-2-2	4-3-2
1-3-1	1-4-4	2-4-1	2-5-20	3-4-1 問3	
1-3-2	1-4-5	2-4-2	2-7-1		
1-3-3	1-4-6	2-4-4	2-8-2		
1-3-4	1-4-7				
1-3-5					

※ これらは基本的・典型的な記述問題として、**「答案に書けるように覚える。」**まで達する。2023. 財務諸表監査の必要性 超典型ストレートに聞かれたことあり。

前年5/6月
典型の1問で
平均午前
5-4-1 問4

企業法とは異なる。

参考: 年末配信済み 企業法・監査論・財務理論 論文学習法セミナー
Web School→受講生専用ページ

② ポイントと監報規定の確認のための問題（知識確認用）

解答となるポイントを頭でイメージできるように。書かずOK
& 関連する監報の規定があれば基準集等で確認する。

事例利用専案

【第3章】監報人又は監報者の訂正後の連結財務諸表に対する監査報告書に特有の記載事項を、その記載区分とともに当該事項に説明する。

【第4章】監報事項区分又はその他の事項区分

【監報事項区分】監報事項区分は、訂正後の連結財務諸表を訂正した理由を詳細に記載している。連結財務諸表の法記又は訂正報告書の訂正理由を参照し、訂正後の連結財務諸表に対して監査報告書を提出しているが、当該訂正に伴い、訂正後の連結財務諸表に対して監査報告書を提出する旨を記載する。

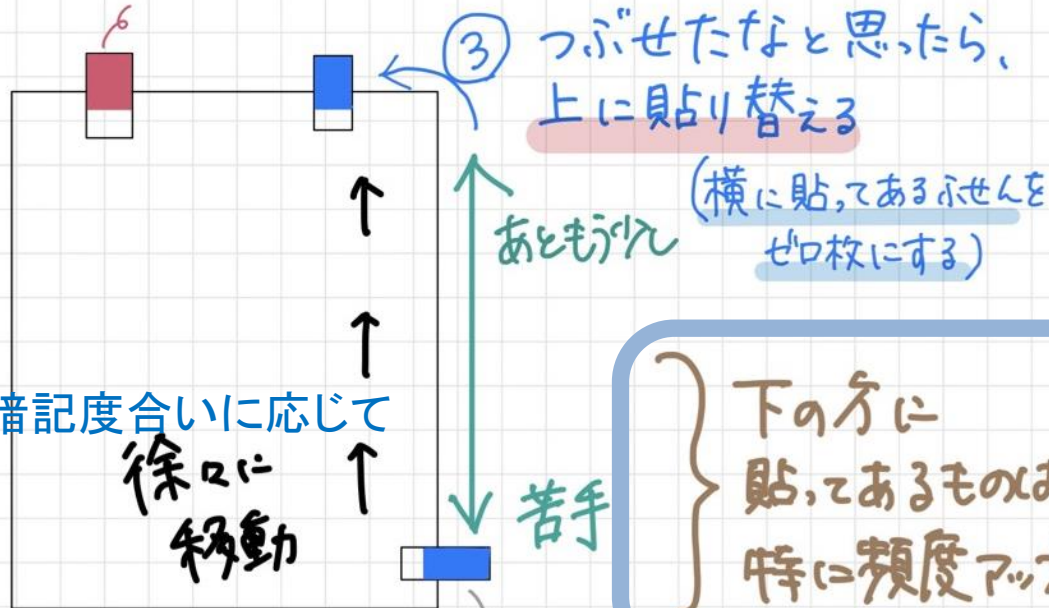
【監報事項区分】（監報事項区分）

「強調又はその他」
って読めたな。

重要事項の所
たしか監報560
らへんで見たぞ。

ふせんの活用例

前々日・前日に確認するページには
目立つ色のふせん



下の方に
貼、てあるものは
特に頻度アップ

①
苦手なページ
暗記が必要なページには
ふせんを貼って毎日確認

テキストのうち覚えにくい箇所について、
消せるペンで強調したり、ふせん。

まずは、重要かつ苦手な箇所を
つぶしていく。

★一度覚えた！と思ったものも、
放置すると抜けてしまう。

知識・記憶を新鮮な状態にするため、
特に模試や本試験前の2週間は
得意なものも含めてざっと点検。

★計算9回+上級15回(全24回)のうち、
基礎マスター9回・上級8回までで取り扱っている論点は優先的に固める。
理論部分は、上級最後の3回で実施(上級16-18)。

※租税上級講義9~15 計算応用論点について
5月短答生は、状況によっては受けない、又は、他の科目も含め積み残しがなくなり
租税アクセスが解き直しやすくなってから、3月までもしくは8月頭までを目途に
理論対策の意識で、やる気が出ない時間帯に受け進めるなど。

テキスト以外の教材の優先順位

アクセス1~4>基礎答練>アクセス5~9>アクセス10、11、12
>応用/直前答練/全国模試 計算A論点>答練・全国模試 計算B論点

※応用・直前答練・全国模試の計算部分を全く見ないというのは危険。
膨大かつ難しそうな資料から、簡単な箇所を取る練習が必要。
ex.全国2までに主にアクセス・テキスト反復



全国2後、直前答練を時間配分の演習として使用

★応用以降の租税理論答練は全て使う(応用、模試、理論補強答練、直前答練)。
5月生…理論の本格的な対策は7月以降でもOK。

理論の学習法

★アクセス解き直し・テキスト例題に慣れてきてから、
理論講義3回分受講(上級16・17・18)。

TAC

計算基礎論点を固めてから本格化。
まずは、理論テキスト例題等で出やすい条文を知る。
結論が出てくる→すぐに目次から探せるように

①問題での出題箇所を
「要約条文」へマーク。

- 理論テキスト例題
- 全9回の答練理論部分
(応用答練2回、全国模試2回、
直前答練3回、理論補強答練2回)

どのように出ていたか？も思い出せるように、
「応1」など出題回も書く。

②答練解き直し&要約条文をこまめに通読→典型条文の位置を覚える。

- アクセス・テキスト反復に慣れて多少余裕が出てきた頃から（7月末頃かなど）、毎日答練の理論部分を1回分解き直す。
（法令基準集を使い、該当条文を探して条文番号を書き出す。15分ほどで1回分目安。）
 - **毎日要約条文をこまめに通読**（5～15分ほど）。マーカー箇所とゴシック体中心。
初めて見る論点でも、大体の位置のあたりが付けられるようになる。
どのような問題だったか？イメージ。
 - 計算自習時、気になったら根拠条文を確認。
- ※消費税法は基準集目次が簡素な
直前期は原文を見慣れておく。

※消費税法は基準集目次が簡素なため、直前期は原文を見慣れておく。

▼直前期は要約条文がメインの学習教材となる

第二目 資産の評価損

33条（資産の評価損の損金不算入等）

(1) 資産の評価損は、原則損金不算入

(2) 災害による著しい損傷等、特別事由が生じた場合には損金算入（損金経理）

※ 固定資産の減損損失は、原則損金不算入（特別事由に該当する場合は除く）

第三目 役員の給与等

34条（役員給与の損金不算入）

直1. ● 理補1 (1) ①定期同額 ②事前確定届出(株式、新株予約権、特定譲渡制限付株式含む) ③業績連動に該当しないものは損金不算入(業績連動に該当しない退職給与、使用人兼務役員除く)

(2) 不相当に高額な部分は損金不算入

① ● (3) 事実を偽装隠ぺいして支給したものは損金不算入

(4) 給与には、債務免除その他経済的利益を含む

(5) 業績連動給与の定義

直1 ● (6) 使用人兼務役員の定義

36条（過大な使用人給与の損金不算入）

答練・テキスト例題での
出題箇所・出題回をメモ

 $\tau \approx 0.14$

直1. 理補

處1

直1

● 応1
商品の低額譲渡

管理会計論

必要な力

※難しい回だと、第2問の平均点が8/50点、素点1点刻みで偏差値が2ずつ下がる年も。
アクセス・答練の採点講評 問別正答率を確認。Web School→学習フォロー→教材)

- ★時間配分に注意。難易度の易しい箇所を正確に解く。
アクセスや答練で、時間配分の練習。
- ★テキストの重要概念・計算目的・長所短所などを説明できるようにする。
論文重点出題項目以外も、テキスト記載論点は押さえる。特に財務情報分析と資金管理。
- ★最後の2週間ほどで、問題演習と合わせてテキスト1周
確認により、ピークを合わせる。模試前に試す。

具体的な進め方

- テキストについて、一度一通り復習。論文アクセス日程がデッドライン。
★23目標論文アクセスで24目標アクセスの「準備」をするのは厳禁。
- アクセス・答練で形式に慣れる。取るべき箇所を見極め、正確に解く。時間配分の練習。
難易度A・Bの箇所を中心に復習(難易度Aを大きなやらかしミスなく取れば、合格点を超える)。
- 論文基礎・応用答練、論文アクセスを通じて、アウトプット練習。
問題文の読み取り、問いへの素直な答え方を身に付ける。
応用的な問題における部分点の取り方や、時間配分の練習。

★論文理論問題集だけで回さない。テキストで回転。目次を見て論点が説明できるか。
テキストの基礎知識で取れる問題の取りこぼしや、論ズレ・計算知識の抜け・問題文の読み取りミスが生じやすい。
計算のためにも、テキストを大事に。

必要な力

- ★時間配分に注意。難易度の易しい箇所を正確に解く。
アクセスや答練で、時間配分の練習。
- ★理論テキストと紐付けて押さえる。
- ★最後の2週間ほどで、問題演習と合わせてテキスト1周
確認により、ピークを合わせる。模試前に試す。

具体的な進め方

- テキスト例題について、一度一通り復習。論文アクセス日程がデッドライン。
- 総合問題形式に慣れる。論文アクセス準備時はパワーアップ問題を活用。
- アクセス・答練は、**難易度Aの箇所**を中心に復習。
(難易度Aを大きなやらかしミスなく取れば、合格点を超える)。
- 論文基礎・応用答練、論文アクセスを通じて、アウトプット練習。
問題文の読み取り、問いへの素直な答え方を身に付ける。
応用的な問題における部分点の取り方や、時間配分の練習。
- 計算と同じ分野について理論テキストを復習。→応用的な問題にも対応できる。

【ポイント】

下書きの固定化・解くべき問題の見極め・正確性（やらかしミス対策）・テキストの知識維持・スピード

①論点をグループ化。

1. 個別論点 テキスト1～4
2. 連結（在外） テキスト5～7
3. 企業結合・事業分離等 テキスト8
4. CF計算書（個別・連結）テキスト9
5. S/S・包括利益計算書・ テキスト4・7
6. 収益認識・外貨建取引
（自分の苦手な論点やテキスト10連結関連など）

②アクセス・答練該当回を加筆。

※下記は正確な出題回ではなくイメージ

- ...ア1-3、9、10、短答過去問集「易・中」一部
- ...ア4、6、基1-3
- ...ア7、応用1-1、短ア8
- ...ア8、11、基3-1
- ...ア3、基2-1、応用1-3
- ...ア10

★企業結合は
細かい処理を忘れやすいため、
模試・本試験前々日等に設定

③論点ごとで問題演習に取り組み、 周辺で気になるところは テキストへ。

★毎回丸ごと解き直してではなく、
難易度Aで間違えた箇所のみ解く、
30分で難易度Aだけ拾う、解法プロセスの確認など、
毎回目的に応じて取り組み方を変える。

財務計算 論文アクセス・答練の復習例

アクセス財務会計論第1回（論文式）解答

【解答時間：60分】

Y〇株式会社（以下、当社とする）の当期（自X3年4月1日 至X4年3月31日）に関する次の【資料】を参照して、問1～問4に答えなさい。

問1

当期の財務諸表における以下の科目の金額（単位：千円）を、答案用紙の所定欄に記入しなさい。

① 退職給付費用

② 株式報酬費用

③ 租税公課

④ 機械装置減価償却費

⑤ リース資産減価償却費

⑥ 利息費用

⑦ 受取配当金

⑧ 有価証券利息

⑨ 有価証券評価益

⑩ 支払利息

⑪ 有価証券売却損

⑫ 為替差損

⑬ オプション損失

⑭ 法人税等（税効果調整後）

⑮ 為替予約

⑯ 繰延税金資産

⑰ リース債務（流動）

⑱ 未払法人税等

⑲ 退職給付引当金

⑳ 資産除去債務

㉑ その他有価証券評価差額金

㉒ 繰延ヘッジ損益

問2

【資料Ⅲ】6.の①～③に当てはまる金額を、答案用紙の所定欄に記入しなさい。

【資料Ⅰ】 解答上の留意事項

1. 計算過程で千円未満の端数が生じた場合は、最終数値を四捨五入すること。

2. 特に指示がない場合は、当座により取引が行われているものとする。

3. 直物為替レートは以下のとおりである。

X3年3月1日 99円/ドル

X4年2月1日 87円/ドル

X3年3月31日 95円/ドル

X4年3月1日 88円/ドル

X3年4月1日 94円/ドル

X4年3月31日 86円/ドル

X3年8月31日 91円/ドル

当期中平均 90円/ドル

4. 答案用紙の記入にあたり、解答すべき金額がゼロの場合には「0」を記入し、貸借対照表における純資産の減少項目には「△」を付すこと。

5. 問題文から判明する以外の事項は考慮外とする。

4回目

3回目

2回目

1回目

【解答】 問1 44点+ 問2 3点+ 問3 2点+ 問4 1点=50点

問1 2点×22箇所=44点

2回目もミスして20

① B 14,815	② A 1,309	③ A
④ A 20,118	⑤ B 8,203	⑥ A
⑦ A 200	⑧ B 7,360	⑨ A
⑩ B 12,959	⑪ A 280	⑫ B
⑬ A 600	⑭ C 217,533	⑮ A
⑯ A 63,840	⑰ B 7,806	⑱ A
⑲ B 8,000	⑳ A 1,729	㉑ A
㉒ A 520		

初見時、赤
2回目 青
3回目 緑
4回目 紫
など

★1問丸ごとの解き直しは、基本的には行わない。

難易度Aで取れなかった箇所を中心に原因分析・復習。

解いてミス？時間不足？

難易度Aを大きなやらかしミスなく取れば、合格点を超える。

問2 1点×3箇所=3点

① A 120	② A 49	③ A 744
---------	--------	---------

問3 1点×2箇所=2点

② A 40	③ A 735
--------	---------

問4 1点

A 3,040

初回時、B・Cを1問ずつ解いてAに5問着手できず。

問題を読む際の判断、時間配分を見直す。

とばした難易度A（時間があれば解けたのか試す）

30

財務計算 テキストチェックゼミ 論文論点



回	出題範囲（丸数字は計算テキスト番号）	論点（赤字太文字が論文重点出題範囲）	論文重点出題範囲のスライド頁
1	①第2～6章	現金及び預金、手形取引、 有価証券（その1・その2）、外貨（その1）	39ページ～97ページ
2	①第8章、②第1～4・8章	貸倒引当金、棚卸資産、固定資産、研究開発費とソフトウェア	5ページ～19ページ、86ページ～98ページ
3	②第5章、③第4～6、8・9章、 ⑥第4章	繰延資産、資産除去債務、退職給付会計（その1・その2）、 税効果（その1・その2）、連結税効果（その1）	12ページ～120ページ
4	①第7・9・10章、②第6・7章	外貨（その2）、金融商品、ヘッジ会計、 固定資産の減損（その1・その2）	すべて
5	③1～3・11章、④第1・2章	リース（その1～その3）、四半期財務諸表、引当金、社債	5ページ～47ページ、55ページ～74ページ
6	②第9, 10章④第3～11章	収益認識、純資産の部、S／S、分配可能額、SO	すべて
7	⑤第2章～、⑥すべて	連結財務諸表	すべて
8	⑤第1章、⑦	本支店会計（うち在外支店の換算）、 連結財務諸表（包括利益）	16ページ～92ページ
9	⑧第1～4・6・8章	組織再編	すべて
10	③第10章、⑨第1・2章	会計上の変更・誤謬の訂正、個別CF、連結CF	すべて

Web School 下段▶受講生専用ページ(パスワード付きページ) ▶「アーカイブ配信一覧」
動画とスライド資料PDF ダウンロード可能

- Q. 計算問題について、目標点数になかなか届きません。
間違えた問題について、どのように復習すればよいのでしょうか。
- Q. 解説を見たら全て理解はできますが、初見で正解ができません。

A. 「なぜ初見で解けなかったか？」
特に、難易度の易しい問題について、
一問ずつ**徹底的に原因分析**を行う。

主な原因

1. **インプット不足** (覚えていない、メンテナンス不足)
2. **時間切れ** (時間配分ミス・スピード不足)
3. **やらかしミス** (自分のミスの傾向に応じた工夫不足)

難易度Bの問題 ……どんな理解があれば正解までたどりつけたか？
なぜ難易度Bになっているか？分析(手間？論点の難しさ?)。

★間違えた問題だけでなく、正解した問題についても**周辺論点のポイント**が想起できるか復習。

参考: 会計人コースweb記事「3つのミス分析で“計算力”を高めよう！」
<https://kaikeijin-course.jp/2022/10/07/53686/>



やらかしミスと対策例

原因	対策例
①下書きを省略しすぎた	講師の下書きを参考に過不足なく書く。 <u>月割計算</u> がある論点は特に注意。
②資料の読み飛ばし	<u>マーカーや色ボールペン</u> を使いながら読む。 3色フリクションペンなど。例 下書き青・強調緑・最大強調赤 (短答・論文共に、問題用紙・下書き用紙には使用可能) ✓マークを資料左側に付す。
③下書きの読み間違い	数字ははっきり書く。自習時からB5などに <u>下書きを大きく書く</u> 。
④電卓の打ち間違い	打つスピードを緩める(<u>処理を思い出すスピードを速くする</u>)。 ブラインドタッチはしない。特に重要な箇所は気持ちゆっくり・ 2度だけ電卓を入れるなど。
⑤電卓や資料の転記ミス	転記時に、ペンで <u>指差し確認</u> 。電卓は体の近くで打つ。
⑥電卓を使わず暗算してミス	<u>極力暗算はしない</u> 。月割は指折り数えるなど。
⑦年度・決算日、税率、単位、 四捨五入、償還日・事業 供用日のチェックもれ	マーカーや色ペンを使いながら読む(問題用紙には使用可 能)。事前に計算論点チェックリスト(web school→「教材」) や、ミスを振り返る。
⑧問題文の指示をチェックし たが、解答中に忘れた	解答中の自分の目の動きを振り返り、目に入る場所に書く。解 答直前に、一旦問題用紙・下書き全体を俯瞰。

必要な力

- ★ファイナンス（講義10回分）
レベル1のような難易度の易しい計算について、正確に解けるように。
問題集や答練で理解不足を発見したら、質問などで解消。
- ★理論（3月末までの講義4回ほど5月以降の3回ほど、全7回ほど）
問題文中で、人名がヒントとして与えられる。
キャラ付けして関連用語を想起できるように。
用語の意味を理解し、ある程度キーワードを使って説明できるように。
全体像が分からない・各理論の関係性など分からない時は本文で流れ確認。

具体的な進め方

- 3月末にかけて、ファイナンス部分10回を受講。講義翌日に章末問題で復習。
文字・公式・グラフについて理解。不明点は質問へ。
模試までに章末問題とレベル1を一通り復習し、解けるようにしておきたい。
租税のアクセスを優先。
- 5月短答生以外は、理論部分もそのまま配信に合わせて受講。
★章末問題について、単語を見てその言葉の意味がざっくり説明できるか？をまず固める。
章末の要点まとめなどを使って人名から関連ワード・意味を思い出す。
5月短答生は、基本的には5月短答後に理論部分を受講（全7回）。

必要な3つの力・目安となる状態・使う教材/サポートまとめ

TAC

必要な力	目安となる状態	使う教材/サポート
テキストを理解	☑テキストを読めば内容がわかる ☑比較が出来る（共通点・相違点） ☑具体例を挙げられる ☑テキストを見ながらであれば、正解できる 規定の趣旨を言えるか？ ★基礎概念や理屈を理解すると暗記量が減らせる。	講義受講(何度も受講し直すのは避ける) 質問…質問コーナー/質問ルーム/24目標LINE オープンチャット/質問メール その他各種アウトプット教材⇔テキスト 理論科目 短答問題集…×の理由を考える。比較。★演習を通じてインプットの穴を探す。
理解に加えて、 本試験当日に テキストの内容 を想起できる (暗記)	☑自力で初見の問題が正解できる ☑問題を解いた後（もしくは目次を見て）、 テキストの周辺論点が 場合分け で思い出せる ★ピーク合わせ…全体2週間以内、細かい暗記は付箋を貼って試験直前の数日以内に暗記など	各種アウトプット教材(問題集、答練、アクセス、テキスト目次、財理章扉word)をきっかけとして繰り返し想起し、テキストへ戻る。 テキストチェックゼミ(財務計算実施・アーカイブ済、管理・監査は12月短答以降実施)。
理解・暗記に加えて 大きなやらかしをせず 得点に繋げ切る (試験中の行動)	☑やらかしミスの対策・工夫をしている ☑時間配分で崩れない、粘り過ぎない ☑正誤の判断能力 ※×を探す。○は積極的には判断しない。 【論文】問題文を読み、テキストのどこが問われているか掴める。素直に過不足なく答えられる。基準集が使える(監査論/租税法/財理/企業法)。	問題集・アクセス・答練・全国模試後に分析して修正行動を検討。 ★解き慣れていない問題で試す。やらかしミスを分析し、対策をメモ。常に工夫。 (論文理論科目の場合、オンライン質問ルームや質問コーナーで答案のフィードバックを受けるなど)

- ・ 受講生専用ページについて
- ・ LINE公式アカウント 3月アカウント移行について
- ・ 質問用LINEオープンチャット（学習法・財理・監査論）

受講生専用ページについて(直接ブックマーク可能)

TAC

年度ごとに、セミナー・テキストチェックゼミアーカイブ配信や
公式LINE・LINEオープンチャット参加リンク・イベント情報など、
全てのリンクがまとまっている。

学習記録

ビデオス予約・
教室情報

登録情報

問い合わせ

ヘルプ

ログアウト

対象：2024年・2025年合格目標の本科生



受講生専用ページ

2024年合格目標 受講生専用ページのご案内
公式LINEや質問対応用LINEオープンチャット（財務会計論・理論・監査論・学習法相談）、本科生限定のイベント情報や、Zoomを活用したセミナーのアーカイブ動画などを一覧にてお知らせいたします。

■2024年合格目標 受講生専用ページ ←サイト閲覧/パスワード

「1対1」でオンラインで講師に直接質問・相談できる質問・相談コーナーや、「1対複数」で講師やチューターに直接質問・相談できる質問・相談ルーム（自習室）を実施しております。

■オンライン質問・相談コーナー/オンライン質問・相談ルーム（自習室） ←サイト閲覧/パスワード

Web School
下段のリンクを
クリック

2024年合格目標
会計士受講生専用ページ

本科生限定のイベント情報や
アーカイブ動画を配信！

TACは皆さまの学習を強力にサポートします。当ページでは、イベント情報や学習法セミナーのアーカイブ配信等をご案内します。
適宜更新を行うため、ブックマークをオススメします。

講義日程

質問・相談

TAC WEB SCHOOL

お知らせ > [2024.02.01] テキストチェックゼミ管理（第7回）アーカイブ配信を開始しました。

アーカイブ配信一覧

学習法セミナー [2023年開催]	開く
学習法セミナー [2022年開催]	開く
テキストチェックゼミ [財務・計算]	開く
テキストチェックゼミ [管理]	開く
オープン模試	開く
特別無料サポート講義	開く
ボモドロー・タイマー動画	開く

動画視聴の便利な機能

- 視聴画面上のメニューボタン「A」や「B」をタップ/クリックすると利用できます。
- チャプター機能 ... 細かい項目へスキップ
- 再生再生機能 ... 再生位置を変更

公式LINE

TAC公認会計士講座では、公式LINEを活用し、時期ごとの学習のポイントやセミナー・イベント情報、答題の出題範囲、講義日程の公表等、見逃しがちな重要情報について平林講師よりお知らせします。
※目標年や学習時期によって、公式LINEのアカウント運用方法が異なります。ご自身の状況にあわせて友達追加をしてください。

> 初學者向け

> 短答リストスタート向け

> 論文リストスタート向け

LINEオープンチャット

テキスト・問題集等の内容や学習法に関する質問を、下記講師が承ります。
学習法質問：平林講師、 財務会計論（理論）：平林講師、 監査論：岡田講師

他の参加者に名前や連絡先が表示されることはありません。過去の質問・回答についてはキーワード検索が可能です。また、よくいただく質問については、ノートにまとめています。

> 学習法

> 財務（理論）

> 監査論

LINE公式アカウントによる重要情報のお知らせ

TAC

重要情報の入手漏れがないよう、
登録をお願いします。

Web School下段→受講生専用ページ→公式LINE

【3月から、下記3つのアカウントで運用します。】

24目標論文関連情報(論文リスタート生/12→8生向け)

24目標5→8関連情報(新設)

24目標短答関連情報(旧短答リスタート生向けアカウント)

24目標初学者向け・・・アカウント移行・配信停止

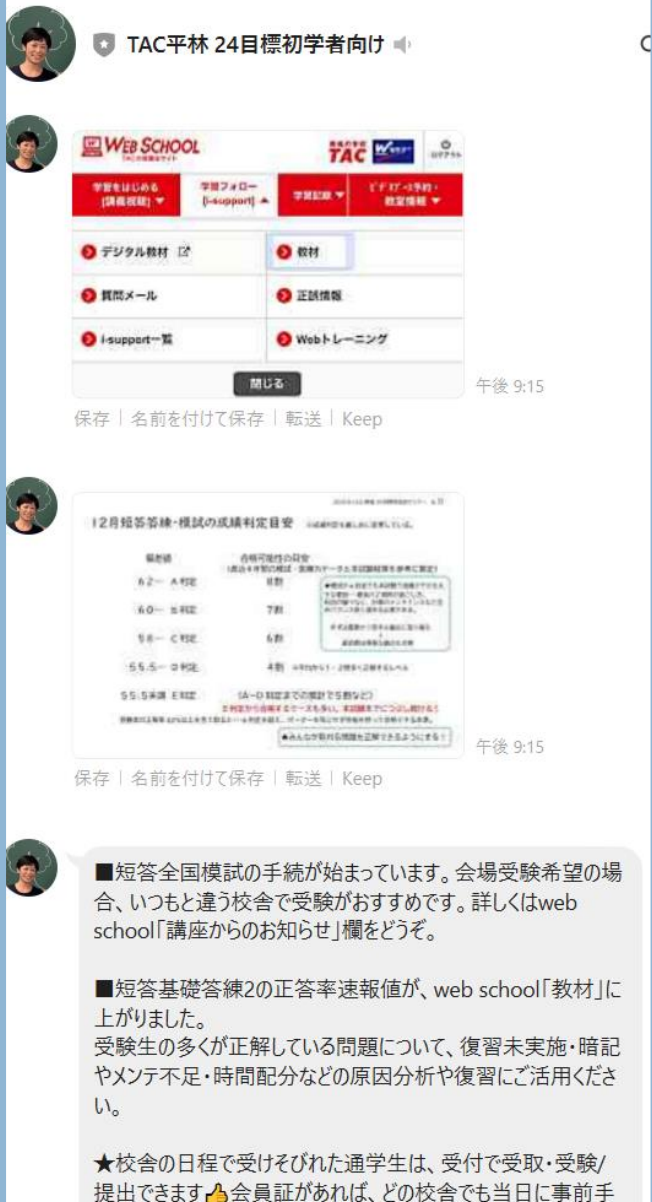
目標年度・状況ごとに別アカウントで、以下を案内。

- 本試験関連情報
- セミナー・相談会等 実施情報
- 主な講義/答練日程の公表

(日程変更については、
別途メール通知サービスをご利用ください。)

- よくいただくご質問
- 模試の平均点速報
- 直前期・当日の注意点等

お知らせ内容のイメージ(ごく概要)
Twitter @hirabayashi_tac



LINE アカウント移行のお知らせ

TAC

3月から、下記3つのアカウントで運用します。

重要情報の入手漏れがないよう、入手したい情報に応じて登録をお願いします。

24目標初学者向けアカウントは、

3月以降アカウント移行・配信停止になります。

24目標短答関連情報@24tac_tan

(旧 短答リスタート生向けLINE)

<https://lin.ee/6tUTMu6>

※論文向けのポイントや答練情報等については配信なし 5月に集中したい人向け



24目標5→8関連情報(新設)@24tac58

<https://lin.ee/VOs76ly>



24目標論文関連情報 @24tac_ron

(論文リスタート生/12→8生向け)

※短答向けのポイントや答練情報等については配信なし

<https://lin.ee/ATV58d1>



TAC

参加方法・・・Web School 下段 「受講生専用ページ」



各種サポート



Web School「受講生専用ページ」参照

TAC

1. 情報提供

- 公式LINE
- 定期的なオンラインセミナー

学習の進め方に不安がない場合も、
重要情報の入手や
短期・中期目標確認のため利用。



サポート一覧HP

2. 1対複数の相談対応

- オンライン質問ルーム(挙手やチャットで質問可能・見学参加もOK)
- LINEオープンチャット(上級期から、学習法・財理・監査論につき開設)

3. 1対1の相談対応

- オンライン/対面質問コーナー 通信生も、校舎の質問コーナー利用OK！

- Web School 質問メール
- 個別成績・学習方法相談

(毎週土曜13時、翌週分のみ予約受付)

- 就職サポート(短答生もOK)

(フリーダイヤル0120527699/メールcounselor@tac-school.co.jpで随時対応)

- 1対1の相談時、より具体的な話ができるように…
- ✓質問・相談前に、直近で実施したオンラインセミナーの資料を確認(できれば動画冒頭30分程も視聴)
 - ✓相談時、自己分析結果/現在の自分の課題や今後の方針、解いた際の下書き/答案等を持参

※LINEオープンチャットで相談しにくい内容の場合、Twitter(X)のDMでもご相談を承ります。平林Twitter
ご質問に口頭でお答えするTwitter(X)スペースを、不定期/録音有で開催しています。ご活用ください。
TAC生向けのセミナー・公式LINEの方が情報をより充実させてお伝えしているため、
スペースは視聴せずでも情報の不足はありません。実施の際には公式LINEで告知します。

https://twitter.com/hirabayashi_tac

